



ふれあいネットワーク

ゆの

社協だより

2020年
8.7
No.59



いつまでも元気で暮らせるように、
みんなで楽しく介護予防！
始まりは大きな声で「エイエイオー！」

介護予防教室「るんるんらんらん」

開催日/毎週水・金

場 所/湯布院福祉センター

時 間/10:30~13:30

もくじ

令和元年度事業報告(概要).....2

令和元年度収支決算報告.....3

福祉のひろば4~5

地域コーナー.....6~7

地域貢献事業紹介コーナー8

共同募金ありがとうメッセージ 9

包括だより 10

寄付のお礼 11

お知らせ 12



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

全体概要

令和元年度は、本会が取り組む事業の多くで「地域共生社会」の実現を基本理念において取り組んで参りました。

地域福祉の分野では、由布市と協働して作成した「第3期由布市地域福祉計画・地域福祉活動計画」“みんなでつろう！誰もが安らげる福祉のまち”の意識醸成と活動の実践に注力してまいりました。

その中で、今年度、特筆すべきは地区社協(互近助コミュニティ)設立のため、市民への説明会開催に向けての体制を整備しました。また、挾間町民生委員児童委員協議会で実施していた一人暮らしの集いを、庄内町民生委員児童委員協議会が、新たに「こすもすの集い」として開催するなど、5か年計画の2年目で、一定の進展をみています。

令和元年度の基本方針として掲げた、「1. アウトリーチ(積極的に対象者の居る場所に向向いて働きかけること)の徹底」「2. 相談・支援体制の強化」「3. 地域づくりのための活動基盤整備」「4. 行政とのパートナーシップ」を推進してまいりました。

1. アウトリーチの徹底、2. 相談・支援体制の強化につきましては、生活困窮者自立相談支援事業や障害者相談支援事業担当者及び包括支援センター職員との連

携により、一定の実績を残すことができました。3. 地域づくりのための活動基盤整備については、各地域に配置した第2層生活支援コーディネーターによる「お茶の間サロン」への支援や各地域ネットワーク会議の定期的な開催などにより、地域資源についての話し合いが行われるなど、一定の評価を残すことができました。4. 行政とのパートナーシップにつきましては、月1回の計画における事業進捗確認を行うとともに、適宜、必要に応じた情報共有や意見交換を行いました。

また、社会福祉法人施設経営者協議会が行う地域貢献事業では、新たにモデル事業として「エンジョイ買物事業」(買物支援事業)が運用開始されました。

なお、介護保険事業や個別支援分野においても、常に要支援者の立場に立った支援を心がけるとともに、制度や分野ごとの縦割りや、「支える側」「支えられる側」という関係を越えた人と人とのつながりを大切にし、各事業を展開しました。

社協内に設置した「地域共生社会実現本部」においては、地区社協(互近助コミュニティ)の設立に向けた取り組み方法、組織での横断的な支援体制の確認や情報共有を図ってまいりました。

主な活動報告

法人運営 理事会 6回 監事監査 2回 評議員会 3回 役員会 3回	見守り活動 登下校時の子ども達の安全を願い、見守り活動を老人クラブ会員・民生児童委員で実施しました。	福祉バスの運行 福祉団体等の研修、各種行事等に活用しました。 93回 1,628人
福祉サービス利用援助事業 判断能力が不十分な方へ福祉サービスの利用に関する援助や、日常生活費の金銭管理のお手伝いをしました。 利用者 18名 260回	ふれあい郵便 75歳以上のひとり暮らしの方へお便りを届けました。 3,721通	ボランティア支援・援助 ボランティア団体・個人の活動振興や情報共有、交流を図るとともに、若い世代にも「福祉の心」を育てよう支援しました。
福祉講座 小学生に、高齢者や障がいのある人々に関心をもつ機会を提供し、人を思いやる心を育むことを目的とし、福祉入門講座等を開催しました。	ひとり暮らしのつどい 年1回、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に開催し、交流を図りました。 庄内地域 年1回開催	社会福祉大会 永年社会福祉事業に功績があった方を称え表彰するとともに社会福祉の進展を図る目的で大会を実施しました。
生活福祉資金貸付 低所得世帯に対し、資金の貸付を行うことにより、生活の安定を図りました。 相談受付 9件 貸付 5件	給食サービス ひとり暮らしの高齢者の方へ食生活改善推進協議会の方が調理されたお弁当を民生委員さんがお届けしました。 年2回	友愛訪問 民生委員・児童委員・老人クラブ会員による訪問活動をしました。
福祉機器の貸出 高齢者や障がい者等の方が自宅で安心して過ごせるように、ベッドや車いすの貸出をしました。 ベッド貸出 30台 車いす貸出 20台	親子ふれあいつアー 母子・父子家庭の親子を一日バス遠足に招待しました。 89名参加(関係者含む)	各種相談事業 総合相談支援・障がい児・者相談事業 心配ごと相談 6人 障がい児・者相談 1,108件 包括支援センター相談 3,843件 生活困窮者自立支援 71件
福祉推進員の委嘱 各自治区に福祉推進員を委嘱し、民生児童委員や関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域社会を推進しました。	各種団体との連携 民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会連合会・ボランティア連絡協議会との連携を図りました。	募金運動の推進 共同募金・歳末たすけあい募金等を推進し、地域福祉事業へ配分しました。
広報誌の発行 社協だよりを発行しました。年4回	配食サービス 65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯で自分で調理や買物ができない方を対象に、食生活の改善と健康増進を図り、併せて配達時に安否確認を行いました。	生活支援体制整備事業 高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援等サービスの提供体制に向けたコーディネート機能を果たしました。

社会福祉法人由布市社会福祉協議会の令和元年度事業収支決算状況を報告いたします

社会福祉法人由布市社会福祉協議会 会長 三ヶ尻 隼人

令和元年度 決 算 報 告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	210,858,827	流動負債	21,761,546
現金預金	185,084,735	事業未払金	20,793,975
事業未収入金	25,298,404	預り金	967,571
立替金	475,688	固定負債	1,737,600
固定資産	87,274,978	退職給付引当金	1,737,600
基本財産	10,048,940	負債の部合計	23,499,146
土地	48,940	純資産の部	
定期預金	10,000,000	基本金	10,000,000
その他固定資産	77,226,038	基本金	10,000,000
建物	601,622	その他の積立金	66,759,814
車両運搬具	2,582,177	車輛購入等積立金	11,622,306
器具及び備品	4,170,390	備品施設整備等積立金	55,137,508
ソフトウェア	162,675	次期繰越活動増減差額	197,874,845
福祉資金貸付金	996,000	次期繰越活動増減差額	197,874,845
退職給付引当資産	1,737,600	(うち当期活動増減差額)	774,022
その他の積立資産	66,759,814		
その他の固定資産	215,760	純資産の部合計	274,634,659
資産の部合計	298,133,805	負債及び純資産の部合計	298,133,805

脚注 1.減価償却費の累計額 43,148,976円
2.徴収不能引当金の額 0円

法人事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	
会費収益	4,669,500
寄附金収益	3,491,671
経常経費補助金収益	60,480,976
受託金収益	108,098,280
貸付事業収益	2,100
事業収益	370,400
負担金収益	5,853,862
介護保険事業収益	118,314,831
障害福祉サービス等事業収益	6,114,270
サービス活動収益計(1)	307,395,890
サービス活動支出	
人件費	226,608,106
事業費	53,742,370
事務費	15,090,582
共同募金配分金事業費	7,352,096
分担金費用	10,000
助成金事業	1,480,000
負担金事業	595,600
減価償却費	3,166,596
徴収不能額	153,120
サービス活動費用計(2)	308,198,470
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	▲ 802,580
サービス活動外収益	
受取利息配当金収益	43,650
その他のサービス活動外収益	1,532,956
サービス活動外収益計(4)	1,576,606
サービス活動外費用	
サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,576,606
経常増減差額(7)=(3)+(6)	774,026
特別収益	
特別収益計(8)	0
特別費用	
固定資産売却損・処分損	4
特別費用計(9)	4
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-4
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	774,022
前期繰越活動増減差額(12)	197,122,630
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	197,896,652
基本金取崩額(14)	0
基金取崩額(15)	0
その他の積立金取崩額(16)	0
その他の積立金積立額(17)	21,807
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	197,874,845

社会福祉法人由布市社会福祉協議会

役員及び評議員名簿

理事7名

※令和2年6月26日改選

役職	氏名
会長	三ヶ尻隼人
副会長	browse けさ子
常務理事	秋吉 孝治
理事	大野 茂喜
理事	土師 壽三
理事	岩尾 豊文
理事	森山 泰邦

監事2名

監事	佐藤 勝弘
監事	志柿 正蔵

評議員9名

※令和2年7月27日改選

役職	氏名
評議員	後藤 久生
評議員	山出 三男
評議員	後藤 憲次
評議員	工藤 康則
評議員	土師 敬士
評議員	梅尾矢代畏
評議員	江藤 修一
評議員	原田 禎二
評議員	馬見塚美由紀

福祉のひろば



委嘱状の交付

福祉推進員とは？

福祉推進員とは、住民に最も身近な自治会等の小地域において、福祉問題を発見し、解決のため近隣住民に働きかけたり、民生児童委員などと協力して活動を推進していく、社会福祉協議会会長から委嘱された地域のボランティアです。



福祉推進員のご紹介

挾間		【任期】平成31年4月1日～令和3年3月31日															
高山七中	蔵	佐藤大	藤野戸部	清英郁多	一夫	朴木大	木上三	下野	大左黒川	石部藤川	美佐尚	子茂	喜多中	里村	徳中佐生	永島野	ユキ工啓多安
来来来	鉢鉢鉢	安加佐	藤藤藤	静昭	生子	北宮	上鶴	市田	長留湯	奴留湯	京三	子加	阿篠	東原	林元寺	仲藤	順康
来北南	田代	荒甲斐	井斐	昌	代	鬼向	崎	原	結城	立也	子	明	東中	ノ	山	江工	藤藤
三古古	野	葛重志	城見	輝成	和志	中柏	野	村野	二園	田本	英律	恵美	酒上	筒	野	工工	藤藤
赤海丸	老	荒門	脇	道	雄	池茅	野	上野	小笠	原	博	心	田同	小野	市佐	良義	隆子
東	行	荒杉	崎	龍	藏	時	松		諫	山			生	田	森	下	香

庄内		【任期】平成31年4月1日～令和3年3月31日																	
畑みどり	住宅	佐藤油	藤中布	績勝	則子	柿野	原畑	1区	土衛	屋藤	美英	恵江	大五	龍ケ	西瀬	吉後	良藤	利佐	武由
猪野	の	小縣	藤藤	夕子	敏	野畑	2区	阿部	部中	山山	よし	夫操	ドリー	ム	五	瀨	稻生	垣野	正士
長葛	原	佐田	藤藤	正芳	猶久	淵淵	3区	阿部	山山	山山	千忠	憲憲	櫟五	福	口	江	秦	岡健	治子
佐橋	平	中田	藤藤	盛二	郎	日	4区	森松	菅山	山山	正憲	一英	五	福	口	江	秦	岡健	治子
甲斐	宇南	挾竹	林野	諭美	重子	伊高	5区	佐藤	藤藤	野野	純憲	八千	小高	久	瀨	中	宗	竹	影
小深	雲	谷取	野藤	龍正	治次	原中	6区	大望	河	野	二章	香	小高	久	瀨	中	宗	竹	影
小東	平	原家	末江	手洗	藤藤	藤藤	7区	河	野	野	香	代	小高	久	瀨	中	宗	竹	影
下上	武	宮	齊藤	藤藤	藤藤	藤藤	8区	河	野	野	香	代	小高	久	瀨	中	宗	竹	影
上武	武	宮	齊藤	藤藤	藤藤	藤藤	9区	河	野	野	香	代	小高	久	瀨	中	宗	竹	影
中武	武	宮	齊藤	藤藤	藤藤	藤藤	10区	河	野	野	香	代	小高	久	瀨	中	宗	竹	影

湯布院		【任期】令和2年4月1日～令和4年3月31日																		
塚津	原	縣加	藤島	ミツ子	雄威	荒石	木武	1区	小野	多恵	子美	信子	槐畑	奥	津	々々	木倉	日吉	野本	ゆかり
岳湯	の	本坪	中山	正尚	美子	東東	石松	2区	阿森	直元	幹柳	子子	上	下	津	々々	江良	橋佐	野野	祐健
中佐	土	島原	江福	実禎	博則	東東	石松	3区	小吉	多直	元幹	柳美	上	下	津	々々	良川	日御	野野	翠子
並若	丸	柳杉	河溝	英正	剛子	山	石松	4区	志佐	多直	元幹	柳美	上	下	津	々々	川	手洗	野野	妙恭
乙丸	丸	1	溝	秀初	恵	平	石松	5区	秋大	多直	元幹	柳美	上	下	津	々々	川	手洗	野野	彦嘉
乙丸	丸	2	溝	秀初	恵	平	石松	6区	秋大	多直	元幹	柳美	上	下	津	々々	川	手洗	野野	彦嘉
新町	新	1	溝	秀初	恵	平	石松	7区	秋大	多直	元幹	柳美	上	下	津	々々	川	手洗	野野	彦嘉
新	新	2	溝	秀初	恵	平	石松	8区	秋大	多直	元幹	柳美	上	下	津	々々	川	手洗	野野	彦嘉

福祉のひろば



湯布院地域の福祉推進員の委
嘱状交付式を行いました。
その後の研修会では、地域で
の役割・活動にあたり人権に関
わる事例も少なくなく、そんな
時にどう対応したらいいのか、ど
こに相談したらいいかを知って
おくことは重要なことだと考え、
湯布院地域の人権擁護委員を招
きお話をしていただき、DVD鑑
賞をしました。

福祉推進員委嘱状交付式 及び研修会

湯布院 6月24日(水)



6月29日(月)に、西庄内保育所
前の国道210号沿いで庄内町ボ
ランティアの会(会長・菊池信子
氏)と西庄内保育所の園児たち
(4〜5歳児)が、交通安全の呼び
かけを行いました。
手作りアマビエ帽子を被り「あ
んぜんうんてん!」と「コロナにま
けるな!」のポスターを掲げ、手を
振りドライバーに注意を呼び掛
けていました。
皆さんも運転するときは、体調
に気を付け、交通ルールを守って
安全運転をしましょう。

交通安全呼びかけ

民生委員・児童委員 活動報告

民生委員・児童委員は、一定の担当地区を受け持ち、地域や関係する機関と手を取り合い、みなさんがその人らしく自立した生活ができるよう暮らしを応援する人たちです。その活動の一部を紹介します。

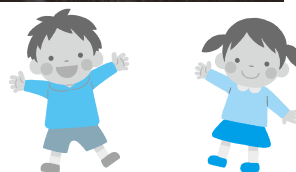
広報活動 5月12~18日

「活動強化週間」の取組として、民生委員・児童委員が身近な存在であることを知っていただくために、期間中、各地域で横断幕を掲示し周知を図りました。



例年は他にも学校訪問や施設訪問などを行っております。新型コロナウイルス感染症の影響が収まれば、また活動の再開を行います。

福祉に関する心配ごとにつきましては、まずは住んでいる自治区を担当する民生委員さんにお声がけください。



新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業でお悩みの皆さまへ

一時的な生活資金の緊急貸付に関するご案内

生活費等の必要な資金の貸付け等を行う生活福祉資金貸付制度(特例貸付)を実施しております。



緊急小口資金

減収となった世帯で、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、少額の費用の貸付を行います。

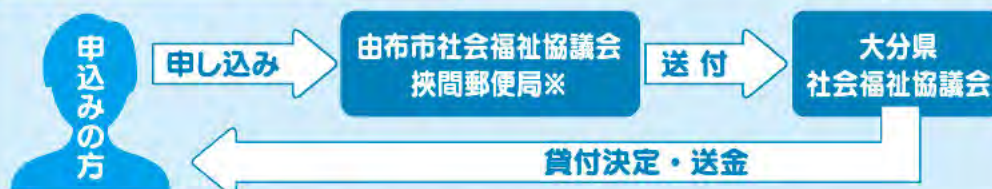
- ◆貸付上限額：20万円以内
- ◆貸付利子：無利子
- ◆据置期間：1年以内
- ◆償還期間：2年以内

総合支援資金(生活支援費)

減収または失業となった世帯で、生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

- ◆貸付上限額：
2人以上の世帯は月20万円以内
単身世帯は月15万円以内
- ◆貸付利子：無利子
- ◆貸付期間：原則3月以内
- ◆据置期間：1年以内
- ◆償還期間：10年以内

貸付手続きの流れ



- ※挟間郵便局で申込受付できるのは緊急小口資金のみとなります。総合支援資金については、由布市社会福祉協議会にご相談ください。
- ※密を避けるため、お一人ずつ相談・面談を実施しています。予めご予約をいただきますようお願いいたします。
- ※今回の特例措置では新たに、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができることとしています。

●郵送でのお申込みもできます

申込様式は、由布市社会福祉協議会各事務所の他、労働金庫・郵便局(大分中央・大分南・挟間)にて準備しております。また、大分県社会福祉協議会のHPからのダウンロードが可能です。



新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により
住居を失うおそれのある皆さまへ



原則3ヶ月間の家賃相当額支給に関するご案内

離職・廃業から2年以内、または新型コロナウイルス感染症の影響による休業などで失業と同程度に収入が減少し、住居を失うまたは、失うおそれがある世帯に対し家賃相当額の支給(支給限度額あり)をおこなっております。 ※収入要件および資産要件あり

住居確保給付金

減収または失業となった世帯で、原則3ヶ月間(最大9ヶ月間)自治体から家主さんに支給するほか、就労支援等を実施し住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行います。

※申請書は由布市社会福祉協議会を通じて由布市福祉課に提出

支給限度額 の目安	単身世帯：	26,600円
	2人世帯：	32,000円
	3人~5人世帯：	34,600円

●貸付のお問い合わせは 相談コールセンター

2020年7月末まで設置予定

☎0120-46-1999 ※9:00~21:00(土日・祝日含む)

●貸付及び住居確保給付金のお問合せは 由布市社会福祉協議会

☎097-582-2756 ※9:00~17:00(土日・祝日除く)
〒879-5434 大分県由布市庄内町庄内原365番地1
(ほのほのプラザ内)





湯布院 石光ふれあいサロン

お茶の間サロン

日時 毎月第3月曜日 9時～11時
場所 石光公民館

今年度より、ブロック別サロン(旧ふれあいサロン)からお茶の間サロンへ移行し、毎月サロンが開催されることとなりました。今回は地域にお住いの方を講師に太極拳を体験しました。



庄内 サロンよっちょくれ

お茶の間サロン

日時 毎月第3月曜日 10時30分～11時30分
場所 大籠東部1区 自治公民館

4月から月1回集う予定でしたが、コロナウィルスの影響で、6月15日に第1回目を開催しました。生きがい応援団の萱嶋さんの手品を交えた健康講和で、みなさん清々しい時間を過ごすことができました。



正しいマスクの洗い方

今回の新型コロナウイルス感染症の影響により、使い捨てマスクが手に入らず、布マスクを使い始めた人も多いため、繰り返し使える布マスクは他の感染症を防ぐためにもこまめに洗うことが必要です。洗い方を参考に、いつも清潔な布マスクを心がけましょう。

使い捨てマスクも同様の洗い方です。ただし、使い捨てマスクの中には、熱に弱い材料が使われているマスクもあるので乾燥機やアイロンは不可。また、使い捨てマスクは洗うことで機能は落ちてしまうそうです。

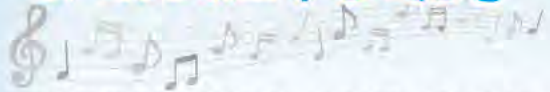
厚生労働省と経済産業省より動画が出ていますのでご参照ください。

参考 URL <https://youtu.be/AKNNZRRo74o>



読者投稿コーナー

リトミック教室 ドレミっ子



湯布院の原風景に合った童謡・唱歌を使ったリトミック教室を開催することで心身の健康と発達を図ります。

日時 毎週水曜日 10時30分～11時15分
場所 湯布院福祉センター 小会議室
対象 乳幼児～4歳
参加料 無料(教材費 月300円)

毎回手作りの教材!



問合せ先

米田 昌子
090-9560-9628



『社協だより』に記事を書かせてみませんか。

地域のイベント、日々感じていることなど、なんでもOK! 掲載を希望される方は、社協の各事務所「社協だより担当」まで記事をお送りください。皆さんからの投稿をおまちしています。

由布市社会福祉法人施設経営者協議会 令和元年度 事業報告

ふるさと愛着事業

- ゆふいん湯歩WAONカード贈呈
中学校卒業生 274名
- 支援金贈呈
由布高等学校伝統芸能部

子供食堂事業

挾間地域・庄内地域・湯布院地域
月1回開催
参加者796人(延べ人数)
ボランティア294人(延べ人数)

クリーンアップ事業

地域とのつながりを感じ、
安全・安心した生活を送る
きっかけづくりとなるための事業
相談件数 0件

ビューティフル ライフサポート事業

葬儀・納骨に関する心配事を
早めに解決し、生き生きとした
人生を行ってもらうための事業
相談件数 1件

緊急現金貸付事業

相談件数 4件

※クリーンアップ事業、ビューティフル
ライフサポート事業、緊急現金貸付
事業のご利用には条件があります。

役員【任期】平成31年4月1日～令和3年3月31日

会長	土師 壽三
副会長	岸 秀谷
副会長	工藤 徳治
監査	佐藤 成己
監査	佐藤 靖久

由布市社会福祉法人経営者協議会とは？

市内13の社会福祉法人が、地域貢献事業として
協賛金などを拠出し、事業を展開しています。

特別養護老人ホーム(情和園・若葉苑・温水園・白心荘)/
寿永会/ケアハウス豊友館/向陽学園/由布川保育園/ひばり
こども園/宮田保育園・はさま保育園/すみれ保育園・
西庄内保育所/聖愛保育園/由布市社会福祉協議会

ゆふ支え愛こども食堂からのお知らせ

再開に向けて準備、日程調整中です。

再開日時は、ポスター、チラシ等でお知らせします。



時間 11:00～13:00

参加費 未就学児→無料/小中学生→100円/高校生以上→200円

挾間

場所 由布川地域交流センター
問合せ 挾間事務所(担当:小野)

庄内

場所 庄内中央公民館
問合せ 庄内事務所(担当:森山)

湯布院

場所 湯布院福祉センター
問合せ 湯布院事務所(担当:溝口)



赤い羽根共同募金

令和元年度赤い羽根共同募金では、38件の申請があり、総額3,211,000円を助成いたしました。「ありがとうメッセージ」が届いていますので、一部ご紹介いたします。

ありがとう
メッセージ

由布市立川西小学校より

感謝のことは

今年度も、赤い羽根共同募金に係る助成金をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは、本物の芸術に触れたり、花を育てて花いっぱい为学校にしたりすることができ、地域の方々と心温まる交流ができました。

このような体験活動やふれあいを通して、子どもたちの心の中に、相手を思いやるやさしい心が育っているように感じます。今後とも、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

川西せせらぎコンサート



由布市立湯布院中学校より



私は、湯布院中学校 3年 木戸みゆきです。
湯布院中学校は、「学習にしっかりと取り組みやすい環境づくり」を行っています。その取り組みの一貫として花いっぱい運動や校内、通学路など美化活動を行い、周りの環境から勉強に集中できるよう活動してきました。
その中で私たちは赤い羽根共同募金に係る助成金を使わせていただきました。ありがとうございます。
また、執行部、代議委員会が中心となってボランティア活動をしました。ボランティア活動では、全校でペットボトルキャップを回収し、77ヶ所に交換したり牛乳パックをトイレトイレットペーパーに交換したりしました。他にも湯布院中、庄内中、挾間中と由布高で湯布院駅、向原駅、由布支援学校の清掃をしました。また今年度は有志を募り老人ホーム(温水園)を訪問し、入所されている方々との絵画交流も深めることができました。私たちは勉強の事以外にも地域の方と深く関わり、社会に貢献できればと自分たちで考え行動してきました。私たち3年生はあと数日で卒業しますが、後輩たちに今まで続けてきた活動を引き継いでもらい、よりよい湯布院中学校になっていきますので今後ともご協力お願いいたします。

2020年 2月18日

湯布院中学校 生徒会代表 木戸みゆき

由布市立湯布院中学校



菊作り名人による菊作り教室



郷土料理の
だんご汁作り体験

地域の方々の昔の遊び

～じぶんの町を良くするしくみ～
赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

運動期間：10月1日～12月31日

今年も「自分の町を良くするしくみ」として、赤い羽根共同募金運動が展開されます。皆様からいただいた募金は、子どもたちへの福祉の醸成、高齢者、障がいのある方などを支援する福祉活動、災害時の被災者支援などに役立てられます。

地域の皆様には、9月頃から自治委員さんを通じてお願いをさせていただきます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ほうかつ
 夏持たせよう

熱中症を 予防しましょう

新型コロナの感染予防のため、マスクを着用することが続いています。
 気温の高い夏にみんながマスクをつけて過ごすのは、初めての事態です。
 夏場にマスクをすることに不慣れな方に注意していただきたいのが熱中症です。



※マスクを着けているときは、激しい運動は避け、
 周囲の人と十分な距離をとった上で適宜マスクをはずしましょう!

<p>部屋の温度をこまめに チェックしましょう。</p>	<p>室温 28℃を越えないように エアコンや扇風機を 上手に使いましょう。</p>	<p>のどが渇かなくても こまめに水分補給!</p>	<p>外出の際は体をしめつけない 涼しい服装で、 日よけ対策も!</p>
<p>無理をせずに 適度に休憩を!</p>	<p>こんなときは ためらわずに救急車を呼びましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識がおかしい ・自分で水分が取れない 		<p>日頃から栄養バランスの 良い食事と体力づくりを!</p>



自粛生活とフレイル(虚弱)

新型コロナ感染予防のため、自粛生活が長くなっています。フレイルが進行する危険性も。

フレイルの進行を 予防しよう!

家族や友人、地域との
 支えあい大切です!

- 1 動かない時間を減らし、
 自宅でできるちょっとした運動で体を守ろう!
- 2 しっかり食べて栄養をつけ、
 バランスの良い食事を!
- 3 お口を清潔に保ちしっかり噛んで、
 できれば毎日おしゃべりを!

高齢のご両親に
 また、ご近所同士
 ぜひ、声をかけあいましょう!



由布市地域包括支援センター

由布市庄内町庄内原321番地4
 (由布市ほのぼの工芸館)
 TEL097-582-0106 FAX097-582-0108

由布ささえるんジャー



開所時間
 月～金曜日
 (祝日除く)
 8:30～17:15

寄付の

お礼

市民の皆様のおかげで、ご芳志に感謝申し上げます。

由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。皆様方のご理解のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年4月1日～令和2年6月30日までの受付分を記載しています。

香典返し (敬称略)

挟間

天野智砂子	北方	金	一封
小野 久子	鶴田	三〇、〇〇〇円	
森 彦一	南田代	金	一封
安部三代子	来鉢東部	一〇、〇〇〇円	
真田 忠彦	上市	一〇〇、〇〇〇円	
佐藤 克也	赤野	金	一封
古長 睦子	上市	三〇、〇〇〇円	
麻生 善則	上市	五〇、〇〇〇円	



社会福祉協議会
ご寄付をされた方々へ
お知らせ

税額控除制度は、寄附金のうち二、〇〇〇円を超える部分の40%を所得税から控除できます。

庄内

佐藤 文彦	西	金	一封
小野 庄治	西長宝	金	一封
阿部よし子	野畑	金	一封
松山 忠憲	阿蘇野	金	一封
庄野 誉	五ヶ瀬	三〇、〇〇〇円	
野尻 善一	洲	金	一封
森 香代	日田市	金	一封
甲斐 信子	阿蘇野	金	一封
平山 俊保	洲	金	一封
伊藤 豊治	阿蘇野	金	一封
粟生 照夫	東長宝	金	一封
工藤 文子	高岡	金	一封

湯布院

大嶋喜久丸	大分市	三〇、〇〇〇円	
衛藤 欣哉	川上	七〇、〇〇〇円	
秋吉 純平	下湯平	二〇、〇〇〇円	
内村 浩茂	大分市	金	一封
江藤 幸雄	川上	一〇〇、〇〇〇円	

一般寄付 (敬称略)

庄内

庄内町ボランティアの会

マスク50枚

由布ライオンズクラブ

一〇〇、〇〇〇円

由布ライオンズクラブ



由布ライオンズクラブさんからご寄付をいただきました。地域福祉活動に活用させていただきます。ありがとうございます。

庄内町ボランティアの会



寄贈：手作りマスク
地域の方から寄贈していただきました。ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

庄内町ボランティアの会(会長菊池信子氏)からデイサービスの利用者へ手作りマスクをいただきました。当日は、疫病除けの妖怪「アマビエ」さんも一緒に来てくれ、マスクの説明をしながら配布していただきました。いただいたマスクは大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

活用させていただきます。ありがとうございます。(デイサービス利用者)



参加者
募集

防災セミナー

内容 ●災害時における
自宅避難について 他

日時 令和2年 **10月8日(木)** 10:00~11:30

会場 由布市役所 3階 大会議室
(由布市庄内町柿原302番地)

参加費 無料

定員 30名 ※定員になり次第終了します。



申込み・問合せ

由布市社会福祉協議会
地域福祉課 (担当:半澤)
☎097-582-2756

イベント中止のお知らせ



親子ふれあいツアー開催中止

令和2年8月に予定していました「親子ふれあいツアー」を今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止することにしました。

楽しみにされていた皆様には、大変ご迷惑をお掛けしますこと、深くお詫び申し上げます。

この新型コロナウイルス感染症をみんなで協力して乗り越え、来年「親子ふれあいツアー」で皆様と笑顔で会えることを願っております。

夏のボランティア体験月間 実施中止

毎年夏休みの時期にかけて由布市内の複数の福祉施設で行われていました夏のボランティア体験月間は、新型コロナウイルス感染症の対策のため、今年度は実施を中止することといたしました。

ボランティア活動を考えていた皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1日でも早い新型コロナウイルス感染終息と、自粛要請等の完全解除による日常生活の再開を心から願っております。

義援金の募集

● 令和2年7月大分県豪雨災害

令和2年7月3日から的大雨により、大分県内に災害が発生したことを受け、大分県共同募金会では、この災害により被災された方々を支援することを目的に義援金の募集を行います。



受付期間

令和2年7月13日(月)~令和2年8月31日(月)まで

募金方法

- ① 由布市社会福祉協議会各事務所に持参
- ② 下記振込先に直接振り込み

振込先	金融機関	支店名	口座番号	名義等
	大分銀行	ソーリン支店	普通預金 7745795	(オオイトケンキョウボレイワニネンシチガツゴウサイガイギエンキン) 大分県共募令和2年7月豪雨災害義援金
	ゆうちょ銀行	00940-4-323294		大分県共募令和2年7月豪雨災害義援金

発行 社会福祉法人 由布市社会福祉協議会

本所 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1
庄内事務所 TEL 097-582-2756 FAX 097-582-2878

挟間事務所 〒879-5502 由布市挟間町向原128番地1
由布市役所挟間庁舎3階
TEL 097-583-4344 FAX 097-583-1041

湯布院事務所 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地
TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

★★★ 編集後記 ★★★

令和2年7月豪雨で被災された方にお見舞い申し上げます。市内各所を訪問する中で、多くの被害状況を目の当たりにして、愕然としたことを覚えています。少しずつ復旧をしていますが、まだまだ全てが治るまでには時間がかかりそうです。自然災害は起こるものと考え、日頃からの防災・減災対策を行って行きたいと思えます。(半)